

グローバル・スタディーズ研究科

- * グローバル社会専攻のカリキュラムについては,
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2021-2022」を参照

国際関係論専攻

地域研究専攻

グローバル社会専攻

国際協力学専攻

1. グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

国際関係の諸問題を多角的に研究する国際関係論，アジア・中東・アフリカ・ラテンアメリカ・ヨーロッパ地域等の内在的な理解を重視する地域研究，グローバル・イシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻，「国際協力」に関して高度で包括的な理解を深める国際協力学専攻のそれぞれの方法論を活かし，グローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者および高度専門職業人を育成します。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では，世界平和と世界正義問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由な国際社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 安全保障・紛争，貧困・開発，移民・難民，国際協力の在り方など国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で，国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与する力
2. 国際関係論およびその関連領域の知識を理解し，現代の国際関係の事象またはグローバル・イシューを鋭利な問題意識と批判的精神で分析し，問題解決に向けて提言する力
3. 地球環境・国際社会について幅広い問題関心を持ち，国際関係の理解に，国際政治学，国際経済学，国際社会学・比較社会学，国際協力論といった学際的な視点と，国家や社会や地域に関する比較の視点からアプローチする力
4. 先行研究をふまえ，的確な構成，緻密な分析，明快，論理的で説得力のある学術論文を書く力

【博士後期課程】

本課程では，世界における平和と正義の問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由なグローバル社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，対象分野に関する新しい知見の発見，ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示する力
2. 自ら選んだ専攻分野における独創的かつ先端的な研究であり，自立的研究者として研究を遂行することができる能力
3. 論文の主要部分が学術雑誌などに出版，あるいは提出されている能力
4. 専門領域での方法論と先行研究をふまえ，的確な構成，緻密な分析，明快，論理的で説得力とオリジナリティのある学術論文を書く力

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では，現場の視点を重視した地域立脚型のアプローチに基づき，歴史的文化的背景に配慮しながら，グローバル・イシューの原点解明と解決をめざすフィールド・ワーカー養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 東南アジア，南アジア，中東，アフリカ，ラテンアメリカ，ヨーロッパの各地域の言語を用い，フィールド・ワークに基づいた方法論を確立する力

2. 国単位ではない地域社会からの発想, 及び複数の学問による共同研究によって既存の学問ではとらえきれない問題へ挑み, 分析・理解する力
3. グローバルな諸現象の解明に地域の視点とアプローチから学術的・社会的に貢献し, 次世代地域研究者としてグローバルな市民社会とローカルな多様性を支える力
4. 明確な問題意識をもち, 十分な先行研究を行った上で, 的確な論文構成と整合性のある論旨展開を備えた修士論文を仕上げる力

【博士後期課程】

本課程では, 研究課題解明のための適切且つ独創的な地域へのアプローチと方法論に基づき, 関連学問分野の発展に貢献する地域研究の高度な学術水準を満たすことを目的とし, 学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば, これらを身につけた者と認め, 学位を授与します。

1. 今日の課題解決のための適切なアプローチを, 学問上の貢献と合わせて開発・確立し, さらに研究課題の解明に必要な十分な言語能力を運用したうえで, フィールド・ワークを遂行し独自の資料入手と分析をする力
2. 将来の学際的な共同研究も視野に入れた, 研究課題の設定及び学術的貢献の可能性を洞察する力
3. 博士前期課程で身につけた方法論や知識をもとに, 自らの専門領域を深めるべく研究を進め, 独自性があり, 学術的社会的貢献が期待できる博士論文を仕上げる力。

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では, 学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば, これらを身につけた者と認め, 学位を授与します。

1. 専門的知識, 世界に通用する文化的対応能力
2. 修士論文およびグラデュエーション・プロジェクトは, 文法的・語法的に正しく, 明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること, 研究テーマの設定が明確に示され, 適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. グローバル社会研究領域では, グローバルな諸事象の研究のための基本的な概念や方法論
4. 国際経営開発領域では, 特に日本とアジアに着目し, 現代社会でのグローバルなビジネスおよび開発における多様な問題に対応するための分析をする力
5. 比較日本研究領域では, 日本の歴史, 文学, 宗教, 美術史, 社会, 文化について, 総合的, 学際的に理解する力

【博士後期課程】

本課程では, 学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば, これらを身につけた者と認め, 学位を授与します。

1. 高度専門職にふさわしい専門知識
2. 博士論文は, 文法的・語法的に正しく, 明確かつ簡潔で適切な表現で書かれた文章であること, 独創性, 独自性のある研究テーマの設定が明確に示され, 深く, 適切な研究のもと説得力のある結論が導き出されていることを目指す。
3. グローバル社会研究領域では, 関連する基本的な概念に精通し, 方法論を用いて達成された, グローバル社会研究領域における独創的な貢献をする力
4. 比較日本研究領域では, 博士学位は, 関連する基本的な概念に精通し, 方法論を用いて達成された, 比較日本研究領域における独創的な貢献をする力

国際協力学専攻

【修士課程】

本専攻では、一国の枠組みを超えた様々な「グローバルな課題」に対処し、国際社会の連帯を必要とする平和協力や平和構築、持続可能な経済や社会の開発、教育開発などの分野で、幅広い知見と実践力を兼ね備えた「グローバル人材」を育成することを目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。この修了要件を満たし、論文ないし研究課題審査に合格すれば、これらを身につけたものとみなし、学位を授与します。

1. 国際社会が必要とする国際協力の分野に関し、国際協力の理念、概念、理論を整理、理解し、さらに国際協力の方法論や国際協力を推進する国際機関、政府機関、NGO、民間セクターなどの役割と機能を学び、その上において国際協力に従事する上でのスキルと実践力を持つ。
2. 平和協力・平和構築や持続可能な開発/社会・教育開発の各分野で、国際社会のこれまでの取り組みや現状の状況に関する深い知見を持ち、様々な課題解決のために実践的かつ実現可能な政策や方策を見出す力を持つ。
3. 国際協力を推進する上で関連する国際関係論や国際社会学、国際経済学、統計学、教育開発、文化社会、地域研究など幅広い学識分野と連携させながら国際協力を考え、批判的および論理的議論の展開力、実践的コミュニケーション能力を有する。

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的とした二つの科目群により、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本課程では、学際的視点と比較の視点を修得すべく、国際政治・比較政治系と国際社会・国際協力系の履修群を二本柱とし、各群から一定の単位を修得し、国際関係論を体系的かつ幅広く研究することを目指している。
2. 国際政治・比較政治系では、国際関係論、国際政治学、比較政治学、平和研究、安全保障など国民国家の安全保障に関連する研究を行う。国際社会・国際協力系では国際経済学、国際社会学・比較社会学、国際協力論など国民国家の枠を超えて、人の安全保障に関連する研究を行う。
3. 国際関係論の理論や先行研究理解を踏まえ、独自の問題関心にしたいが、国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与できるような修士論文の作成に取り組ませる。
4. 修士課程での研究の発展を促すために、1人の学生を主指導教員と副指導教員の複数指導体制によって研究指導を行う。複数の教員の指導によって幅広い知識と視野を得て、学生が独自の研究を円滑に進めることが出来る指導体制とする。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、個別研究の独創性と学術的貢献についての認識を深め、学術上の研究成果をあげるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員と作成した独自のカリキュラムによって研究を進め、学会での発表や学術誌への投稿を行う。そのことで専門的な知識をえるだけでなく、高度な独創性をもった独自の研究を深めていく。
2. 本課程では、学際的な研究を遂行できるように複数の専門領域を学ぶことを学生に期待しており、博士論文の第一段階は、国際関係論で開設されている二科目を選択して受験する「博士論文資格試験」に合格することにより、この試験を経ることによって、複数の専門科目に関する幅広い知識と視野を得ることを目指す。
3. 博士論文の第二段階は、「博士論文計画書」を作成する。指導教員の指導によって独自に計画書の作成を進め学会での報告や学会誌への投稿を行うが、それらの研究成果に基づく具体的で体系的な博士論文の執筆計画を提出し審査される。「博士論文計画書」によって、博士論文作成は最終執筆の段階に至る。

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修の基礎科目により、地域研究の基礎と多様で総合的な方法と地域立脚型の視点を修得させる。
2. 地域間比較科目により、研究対象とする地域及び主として用いる方法論の相対化を促し、また比較の視野を培うことによって個別研究の学術的貢献について客観的に把握する力をつける。
3. 地域研究専門科目により、研究対象に適切な方法論及び専攻研究成果を踏まえた、整合性のある論理展開が出来るように訓練する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの実現を目的として、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フィールド・ワークによる独創的な資料入手及びアプローチの開発を促すために、指導教員との個別論文指導を行う。
2. 指導教員及び専攻内で開設されている科目への積極的な参加を通じて、他分野、他地域の学生と幅広く議論する。
3. 博士論文提出資格試験により、言語能力、論理的思考も含めた学術水準の到達度を審査する。
4. 博士論文提出資格試験に合格したのち、博士論文計画書審査と博士論文計画セミナーの実施を経て博士論文完成へと導く。

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 多国籍・多文化な社会において、英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. グローバル社会研究領域では、国際的な組織、政府、NGO、マスメディア、教育機関その他の組織に十分に参画し、指導的な役割を果たす能力を身に付けさせる。
3. 国際経営開発学領域では、先進国・発展途上国の経済状況を深く理解し、国際的な組織・政府・ビジネスで必要な専門的な経営管理能力を身に付けさせる。
4. 比較日本研究領域では、教育機関その他の、日本に関する専門的な知識を必要とする組織において必要な日本語力と学術的知識を修得させる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 特定の領域で深い専門知識を修得し、かつ国際的なキャリアに必要な文化的対応能力を備える者を育成する。
2. グローバル社会研究領域では、高等教育機関における教育研究職や、グローバルな諸事象に対する専門的な理解と分析を必要とする組織での職務に就くに十分な、グローバル社会研究領域に対する理論と方法の専門的知識を身に付けさせる。
3. 比較日本研究領域では、日本研究領域の特定分野において高等教育機関における教育研究職に就くに十分な専門性を身につけ、また、自らの専門分野において高度・革新的なレベルの研究を続けてゆく能力を身に付けさせる。

国際協力学専攻

【修士課程】

本専攻では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「平和協力・平和構築研究」と「持続可能な開発/社会・教育開発研究」の二つの専門領域を柱とし、基礎科目（A群）と海外実習科目（B群）から成る中核科目群と、応用科目（C群）、応用実務科目（D群）、連携科目（E群）から成る専門科目群の2つの大科目群と5つの小科目群の中に、その二つの専門領域の科目をバランス良く配置します。それぞれの専門領域に応じて、中核科目群の基礎科目（A群）で得た幅広い知識をベースに、海外実習科目（B群）で海外の現場で国際協力に従事する上でのスキルと実践力を学び、専門科目群の応用科目（C群）や応用実務科目（D群）、連携科目（E群）を通じて、各専門領域の分析、論理構成、知見をさらに深め、専門性と実践力を高めるカリキュラムを編成しています。

1. 基礎科目（A群）では、二つの専門領域の基礎となる科目を配置し、幅広い領域を扱う国際連合や関連した専門的国際機関の役割や機能を学び、さらに国際協力に関する基礎科目や研究の基礎となる調査方法論、スキルの向上、国際公務員制度、コミュニケーション論などに関する科目を配置することにより、国際協力に関する基礎知識を修得させるとともに、思考力、論理的議論の展開力、実践的コミュニケーション力の基礎を養います。
2. 海外実習科目（B群）では、国連機関の本部が集中するニューヨークやジュネーブ、バンコクなどを拠点として、修了後の国際キャリアを目指す上で貴重な実体験を提供することにより、実務型の知識とスキルや実践力を向上させます。
3. 応用科目（C群）および応用実務科目（D群）では、各領域の知識を広め、分析力や思考力および議論の展開力を高め、専門性を深めるための科目を配置します。平和協力・平和構築領域では、国際連合などによる平和協力だけではなく、地域機関やサブ地域機関、専門的国際機関、国際NGO、民間セクターとの連携や主要国の外交が与える影響、人間の安全保障への貢献などの理解を深めます。持続可能な開発では、国連開発計画（UNDP）など開発系の国際機関や世界銀行やアジア開発銀行など国際開発金融機関の役割、政府による開発援助、私企業を含む民間セクターの直接投資、環境やジェンダーに即した開発論など、より実践的な科目を中心とします。社会・教育開発では、人口や人の移動と開発の関係や地域社会の役割、環境と開発のバランス、公教育における教育の公平性や質の向上だけでなく、学校外のノンフォーマルな教育開発にも寄与する要件を学ぶ機会を提供します。
4. 連携科目（E群）には、国際政治や国際政治経済の理論から国際開発協力における地域の特性や地域的開発アプローチの研究、海洋法やジェンダー論など多様な科目を配置し、二つの専門領域に関する学識分野についての幅広い知見を強化する役割を果たします。必要に応じて、他の研究科、専攻の科目を履修できるように設計し、専門領域の知見と分析力や思考力および議論の展開力をさらに高める機会を提供します。

国際関係論専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目	30		
└─自専攻科目	18		国際政治・比較政治系から12単位・国際社会・国際協力系から6単位, 国際社会・国際協力系から12単位・国際政治・比較政治系から6単位, いずれかの組み合わせで履修すること
└─国際政治・比較政治系	12または6		
└─国際社会・国際協力系	6または12		
└─自研究科他専攻科目			
└─委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

- ▶前期課程学生は, [国際政治・比較政治系] 履修群および [国際社会・国際協力系] 履修群から 12 単位以上, もう一方から 6 単位以上を履修しなければならない。
- ▶前期課程学生は, 「研究指導」を在学中, 毎学期履修し, 必要な科目数を合格しなくてはならない。
- ▶前期課程修了条件は, 履修上の注意にしたがった上で, 30 単位以上の単位を修得し, 定められた手続きにより修士論文を提出して, 口述試験に合格することである。

定められた手続きに関するスケジュール

【博士前期課程 1 年次】

- 4 月上旬 入学式
- 4 月上旬 国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
- 4 月上旬～中旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (春学期科目)
- 4 月中旬 「博士前期課程指導教員仮届」提出
- 9 月中旬～9 月下旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (秋学期科目)
- 9 月下旬～10 月上旬 博士前期課程 2 年生の修士論文中間報告会出席 (観覧者として)
- 10 月上旬 「指導教員変更届」提出 (変更者のみ)

【博士前期課程 2 年次】

- 4 月上旬 国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
- 4 月上旬～中旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (春学期科目)
- 4 月中旬 「指導教員仮届及び修士論文提出予備届」提出
- 9 月中旬～9 月下旬 履修登録期間中に Loyola にて履修登録 (秋学期科目)
- 9 月下旬～10 月上旬 修士論文中間報告会出席 (報告者として)
- 11 月上旬 「国際関係論専攻修士論文提出本届」提出
- 1 月上旬 修士論文提出期日
- 2 月上旬 修士論口述試験 (後日結果通知)
- 3 月下旬 修了式

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (国際政治・比較政治系) 履修群 >			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
国際政治史研究1 (基礎)		2	
国際政治史研究2 (応用)		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
国際政治学研究		2	
中国政治外交研究		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)		2	
地域統合研究1		2	
地域統合研究2		2	
国際安全保障研究1		2	
国際安全保障研究2		2	
(他) 政治学研究 I (政治経済文献講読) ※注1		2	
(他) 政治学研究 II (リサーチデザイン) ※注1		2	
(他) UN STUDIES ※注2		2	
(他) グローバル・ガバナンス論 ※注2		2	
(他) PEACEBUILDING SEMINAR ※注2		2	
(他) HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING ※注2		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (国際社会・国際協力系) 履修群 >			
開発経済学研究1		2	
開発経済学研究2		2	
国際協力論研究演習1		2	
国際協力論研究演習2		2	
国際社会学研究1 (基礎)		2	
国際社会学研究2 (応用)		2	
グローバル市民社会論研究1 (基礎)		2	
グローバル市民社会論研究2 (応用)		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際経済学研究1		2	
国際経済学研究2		2	
国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	
社会科学の方法論1 (基礎)		2	
社会科学の方法論2 (応用)		2	
(他) REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY1 ※注2		2	
(他) REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY 2 ※注2		2	
(他) INTERNATIONAL MIGRATION AND GLOBAL POLITICS ※注2		2	
(他) INTERNATIONAL PROTECTION OF REFUGEES ※注2		2	

※注1：法律学専攻開講科目

上記注1科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

※注2：国際協力学専攻開講科目

上記注2科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程学生は、[国際政治・比較政治系]履修群および[国際社会・国際協力系]履修群のいずれかから12単位以上、もう一方から6単位以上を修得しなければならない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
なお、博士前期課程修了要件において、入学年次に応じて履修群の科目編成が異なるので注意すること。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに、なるべく早く修士論文の指導教員（本学国際関係論専攻担当専任教員）を決定し、必要な科目を履修すること。
- 3) 前期課程学生は、ガイダンスにて配布される「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。
- 4) 年度初めに行う専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文」について説明を行うので、必ず出席すること。
- 5) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中、每学期履修し、必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 7) 前期課程修了条件は、上記1)～4)にしたがった上で、30単位以上の単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。
- 8) 前期課程において、大学院学則の規定に従い、本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる（入学前既修得単位認定）。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を、本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる（単位換算）。いずれの場合も、学事センターへ申請が提出された後、本専攻にて審議し、認定の可否を判断する。単位数は、本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は10単位を上限とする。
- 9) 2020年度以前に履修した科目を確認する場合は、2020年度以前の履修要覧を確認すること。
- 10) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻事務室、指導教員、専攻主任などと相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6200	春	対外政策研究1	IRS503-66j00	2	小島 真智子		「対外政策専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6220	秋	対外政策研究2	IRS504-66j00	2	小島 真智子		「対外政策専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6920	春	国際経済学研究1	IRS553-66j00	2	下川 雅嗣		旧「国際経済学研究1(理論)」隔年開講，「国際経済学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6930	秋	国際経済学研究2	IRS554-66j00	2	下川 雅嗣		旧「国際経済学研究2(ケース・スタディ)」隔年開講，「国際経済学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6900	休講	国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)	IRS551-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論専門研究1(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6910	休講	国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)	IRS552-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論専門研究2(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6141	休講	国際政治史研究1(基礎)	IRS531-66j00	2			隔年開講，「国際政治史専門研究1(基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6142	休講	国際政治史研究2(応用)	IRS532-66j00	2			隔年開講，「国際政治史専門研究2(応用)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6143	春	日本外交研究1	IRS533-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，旧「日本外交史研究1」「日本外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6144	秋	日本外交研究2	IRS534-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，旧「日本外交史研究2」「日本外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6180	春	グローバル市民社会論研究1(基礎)	IRS501-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論専門研究1(基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6190	秋	グローバル市民社会論研究2(応用)	IRS502-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論専門研究2(応用)」と合併，博士前期課程対象
MFIR7060	春	国際政治学研究	IRS521-66j00	2	渡辺 紫乃		「国際政治と国際協力(国際協力専攻)」と合併，博士前期課程対象
MFIR7070	春	中国政治外交研究	IRS522-66j00	2	渡辺 紫乃		春学期集中，「国際政治と国際協力演習(国際協力専攻)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6940	休講	国際協力論研究演習1	IRS523-66j00	2			「国際協力論研究専門演習1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6950	休講	国際協力論研究演習2	IRS524-66j00	2			「国際協力論研究専門演習2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6740	春	アメリカ政治外交研究1	IRS527-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6750	秋	アメリカ政治外交研究2	IRS528-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6030	休講	グローバル・ガバナンス論研究1	IRS529-66j00	2			「グローバル・ガバナンス論専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6040	秋	グローバル・ガバナンス論研究2	IRS530-66j00	2	都留 康子		「グローバル・ガバナンス論専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6010	春	開発経済学研究1	IRS535-66e00	2	高島 亮	○	「開発経済学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6020	秋	開発経済学研究2	IRS536-66e00	2	高島 亮	○	「開発経済学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6300	春	比較政治学研究1	IRS505-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6310	秋	比較政治学研究2	IRS506-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6860	1Q	社会科学の方法論1(基礎)	IRS549-66j00	2	*小林 誉明		旧「統計学と国際社会研究1(基礎)」，博士前期課程対象，注1
MFIR6870	2Q	社会科学の方法論2(応用)	IRS550-66j00	2	*小林 誉明		旧「統計学と国際社会研究2(応用)」，博士前期課程対象，注1

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバリング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備 考
MFIR6370	休講	国際社会学研究1(基礎)	IRS507-66j00	2			「国際社会学専門研究1(基礎)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6380	休講	国際社会学研究2(応用)	IRS508-66j00	2			「国際社会学専門研究2(応用)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6990	春	現代ロシア政治研究1	IRS509-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講、「現代ロシア政治専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6340	秋	現代ロシア政治研究2	IRS510-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講、「現代ロシア政治専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6350	休講	ロシア政治史研究1	IRS511-66j00	2			隔年開講、「ロシア政治史専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6360	休講	ロシア政治史研究2	IRS512-66j00	2			隔年開講、「ロシア政治史専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6483	春	ヨーロッパ比較政治研究1	IRS537-66j00	2	河崎 健		「ヨーロッパ比較政治専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6484	秋	ヨーロッパ比較政治研究2	IRS538-66j00	2	河崎 健		「ヨーロッパ比較政治専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6490	休講	現代ロシア経済研究1	IRS516-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア経済専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6491	休講	現代ロシア経済研究2	IRS539-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア経済専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6500	休講	体制移行経済研究1	IRS517-66j00	2			隔年開講、「体制移行経済専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6501	休講	体制移行経済研究2	IRS540-66j00	2			隔年開講、「体制移行経済専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6780	春	言語社会学研究1	IRS518-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6790	休講	言語社会学研究2	IRS519-66j00	2			「言語社会学専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6840	春	環太平洋移民史研究1	IRS541-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う「環太平洋移民史専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR6850	秋	環太平洋移民史研究2	IRS542-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う「環太平洋移民史専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6550	春	国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)	IRS547-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論専門研究1(政治学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR6560	秋	国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)	IRS548-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論専門研究2(政治学的アプローチ)」と合併、博士前期課程対象
MFIR7020	春	地域統合研究1	IRS557-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う「地域統合専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7030	秋	地域統合研究2	IRS558-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う「地域統合専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR7040	春	国際安全保障研究1	IRS525-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障専門研究1」と合併、博士前期課程対象
MFIR7050	秋	国際安全保障研究2	IRS626-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障専門研究2」と合併、博士前期課程対象
MFIR6960	春	国際関係論特殊講義	IRS513-66j00	2	*藤重 博美		「国際関係論演習」と合併、M1対象
MFIR6970	春	国際関係論演習	IRS614-66j00	2	*藤重 博美		「国際関係論特殊講義」と合併、M2対象
MFIR9011	春	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻 各指導教員		M2対象(9月修了対象)
MFIR9010	秋	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻 各指導教員		M2対象

注1 クォーター科目のため、学期科目と授業期間が異なる。

4月の履修登録期間に「1」「2」両方の科目を履修登録すること。1Qの講義終了後、単位取得の可否を担当教員に確認し、修得できれば「2」に進み、修得できなかった場合は6月の「2Q科目追加履修登録期間」に「2」の科目を削除すること。

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS599-66j00	下川 雅嗣	
	岸川 毅	
	稲葉 奈々子	
	湯浅 剛	
	宮城 大蔵	
	河崎 健	
	高島 亮	
	安達 祐子	
	木村 護郎クリストフ	
	前嶋 和弘	
	都留 康子	
	飯島 真里子	
	鈴木 一敏	
	中内 政貴	
	小島 真智子	
齊藤 孝祐		

国際関係論専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
▶選択科目			
└博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

定められた手続きに関するスケジュール

【毎年】

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 4月上旬 | 国際関係論専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取 |
| 4月上旬～中旬 | 履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目） |
| 4月中旬 | 「博士後期課程指導教員仮届」提出 |
| 9月中旬～下旬 | 履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目） |

【博士論文資格試験受験⇒博士論文計画書提出⇒博士論文提出】

①博士論文資格試験科目選択計画書の提出（所定用紙：専攻 HP よりダウンロードすること 提出先：専攻事務室）

- ・春学期（5月～6月）に受験する場合：前年度11/20迄
- ・秋学期（11月～12月）に受験する場合：当該年度5/20迄

※前もって各科目の担当教員の内諾を得ておくこと

※受験時期は、合格後9カ月以内の博士論文計画書の提出が可能であるか十分に考慮して申請すること



②博士論文資格試験受験 5月/6月または11月/12月（筆記試験2科目・口述試験）



③博士論文計画書の提出（博士論文資格試験合格後9カ月以内に専攻事務室へ提出）



④博士論文予備審査申請書の提出

論文3部を添えて専攻事務室へ提出（所定用紙：専攻 HP よりダウンロードすること）

予備審査は申請書提出後30～60日以内に行う。（審査期間は夏期休暇等長期休暇の日数は含めない。ただし、特に不都合が生じる場合には特別考慮する）

※博士論文予備審査に合格することが、博士論文提出のための要件となる



⑤博士論文審査願い又は学位申請書及び*関連書類一式の提出（学事センターへ提出）

課程博士・・・在学中の授与（または論文再入学制度での授与）

論文博士・・・満期退学後の授与

*関連書類

1. 論文目録
2. 履歴書
3. 論文要旨
4. 論文（簡易製本）
5. インターネット公表確認書1部
6. 論文要約（インターネット非公開表の場合のみ）



⑥論文審査・論文要約審査・公開試問（試験日は試験担当教員と調整して決定）



⑦博士論文（製本）提出（学事センターへ）



⑧学位授与可否審議（審査員のみ）



⑨学位記授与（3月または9月）

※詳細については、「研究指導，博士論文資格試験，博士論文計画書および博士論文についての内規」を参照のこと。不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規程等関連書類を熟読し，専攻事務室，指導教員，専攻主任などに相談すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、対象分野に関する新しい知見の発見、ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示されていること。
- 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
- 5) 論文の主要部分が学術雑誌などに出版されているか、あるいは掲載される水準であること。
- 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり、執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。

2. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生（2017年度生以降）は、研究指導科目の必要合格科目数が定められているため、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」に従って履修すること。
- 2) 後期課程の学生（2018年度生以降）は、博士後期課程演習科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 3) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上、決定することとする。
- 4) 後期課程の学生は、専攻事務室に指導教員の届出をしなければならない。
- 5) 後期課程の学生は、修了要件として休学期間を除く3年の在学が必要となる。在学中は指導教員の研究指導科目を毎学期履修しなければならない。
- 6) 後期課程の「博士論文計画書」及び「博士論文資格試験」については、「博士論文資格試験、博士論文計画書および博士論文についての内規」に定められている。
- 7) 18年度以前に履修した科目を確認する場合は、18年度以前の履修要綱を確認すること。
- 8) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻事務室、指導教員、専攻主任などと相談すること。

3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<国際政治・比較政治系>			
対外政策専門研究1			2
対外政策専門研究2			2
比較政治学専門研究1			2
比較政治学専門研究2			2
現代ロシア政治専門研究1			2
現代ロシア政治専門研究2			2
ロシア政治史専門研究1			2
ロシア政治史専門研究2			2
国際政治史専門研究1（基礎）			2
国際政治史専門研究2（応用）			2
日本外交専門研究1			2
日本外交専門研究2			2
ヨーロッパ比較政治専門研究1			2
ヨーロッパ比較政治専門研究2			2
アメリカ政治外交専門研究1			2
アメリカ政治外交専門研究2			2
グローバル・ガバナンス論専門研究1			2
グローバル・ガバナンス論専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 （政治学的アプローチ）			2
国際政治経済論専門研究2 （政治学的アプローチ）			2
地域統合専門研究1			2
地域統合専門研究2			2
国際安全保障専門研究1			2
国際安全保障専門研究2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<国際社会・国際協力系>			
開発経済学専門研究1			2
開発経済学専門研究2			2
国際協力論研究専門演習1			2
国際協力論研究専門演習2			2
国際社会学専門研究1（基礎）			2
国際社会学専門研究2（応用）			2
グローバル市民社会論専門研究1（基礎）			2
グローバル市民社会論専門研究2（応用）			2
現代ロシア経済専門研究1			2
現代ロシア経済専門研究2			2
体制移行経済専門研究1			2
体制移行経済専門研究2			2
言語社会学専門研究1			2
言語社会学専門研究2			2
国際経済学専門研究1			2
国際経済学専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 （経済学的アプローチ）			2
国際政治経済論専門研究2 （経済学的アプローチ）			2
環太平洋移民史専門研究1			2
環太平洋移民史専門研究2			2

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7000	春	対外政策専門研究1	IRS802-66j00	2	小島 真智子		「対外政策研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7010	秋	対外政策専門研究2	IRS803-66j00	2	小島 真智子		「対外政策研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7020	春	国際経済学専門研究1	IRS804-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講，「国際経済学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7030	秋	国際経済学専門研究2	IRS805-66j00	2	下川 雅嗣		隔年開講，「国際経済学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7040	休講	国際政治経済論専門研究1 (経済学的アプローチ)	IRS806-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7050	休講	国際政治経済論専門研究2 (経済学的アプローチ)	IRS807-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7060	休講	国際政治史専門研究1 (基礎)	IRS808-66j00	2			隔年開講，「国際政治史研究1 (基礎)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7070	休講	国際政治史専門研究2 (応用)	IRS809-66j00	2			隔年開講，「国際政治史研究2 (応用)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7080	春	日本外交専門研究1	IRS810-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，「日本外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7090	秋	日本外交専門研究2	IRS811-66j00	2	宮城 大蔵		隔年開講，「日本外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7100	春	グローバル市民社会論専門研究1 (基礎)	IRS812-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論研究1 (基礎)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7110	秋	グローバル市民社会論専門研究2 (応用)	IRS813-66j00	2	稲葉 奈々子		「グローバル市民社会論研究2 (応用)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7740	休講	国際協力論研究専門演習1	IRS816-66j00	2			「国際協力論研究演習1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7750	休講	国際協力論研究専門演習2	IRS817-66j00	2			「国際協力論研究演習2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7220	春	アメリカ政治外交専門研究1	IRS818-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7230	秋	アメリカ政治外交専門研究2	IRS819-66j00	2	前嶋 和弘		「アメリカ政治外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7820	休講	グローバル・ガバナンス論専門研究1	IRS820-66j00	2			「グローバル・ガバナンス論研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7830	秋	グローバル・ガバナンス論専門研究2	IRS821-66j00	2	都留 康子		「グローバル・ガバナンス論研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7800	春	開発経済学専門研究1	IRS826-66e00	2	高島 亮	○	「開発経済学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7810	秋	開発経済学専門研究2	IRS827-66e00	2	高島 亮	○	「開発経済学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7400	春	比較政治学専門研究1	IRS828-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7410	秋	比較政治学専門研究2	IRS829-66j00	2	岸川 毅		「比較政治学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7420	休講	国際社会学専門研究1 (基礎)	IRS830-66j00	2			「国際社会学研究1 (基礎)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7430	休講	国際社会学専門研究2 (応用)	IRS831-66j00	2			「国際社会学研究2 (応用)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7760	春	現代ロシア政治専門研究1	IRS832-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講，「現代ロシア政治研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7770	秋	現代ロシア政治専門研究2	IRS833-66j00	2	湯浅 剛		隔年開講，「現代ロシア政治研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7780	休講	ロシア政治史専門研究1	IRS834-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7790	休講	ロシア政治史専門研究2	IRS835-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7520	春	ヨーロッパ比較政治専門研究1	IRS836-66j00	2	河崎 健		「ヨーロッパ比較政治研究1」と合併，博士後期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7530	秋	ヨーロッパ比較政治専門研究2	IRS801-66j00	2	河崎 健		「ヨーロッパ比較政治研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7540	休講	現代ロシア経済専門研究1	IRS837-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア経済研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7550	休講	現代ロシア経済専門研究2	IRS838-66j00	2			隔年開講、「現代ロシア経済研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7560	休講	体制移行経済専門研究1	IRS839-66j00	2			隔年開講、「体制移行経済研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7570	休講	体制移行経済専門研究2	IRS840-66j00	2			隔年開講、「体制移行経済研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7580	春	言語社会学専門研究1	IRS841-66j00	2	木村 護郎クリストフ		「言語社会学研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7590	休講	言語社会学専門研究2	IRS842-66j00	2			「言語社会学研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7680	春	環太平洋移民史専門研究1	IRS845-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う「環太平洋移民史研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7690	秋	環太平洋移民史専門研究2	IRS846-66m00	2	飯島 真里子		授業は日本語と英語で行う「環太平洋移民史研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7720	春	国際政治経済論専門研究1 (政治学的アプローチ)	IRS847-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7730	秋	国際政治経済論専門研究2 (政治学的アプローチ)	IRS848-66j00	2	鈴木 一敏		「国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)」と合併、博士後期課程対象
DFIR7860	春	地域統合専門研究1	IRS851-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う「地域統合研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7870	秋	地域統合専門研究2	IRS852-66m00	2	中内 政貴		授業は日本語と英語で行う「地域統合研究2」と合併、博士後期課程対象
DFIR7880	春	国際安全保障専門研究1	IRS843-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障研究1」と合併、博士後期課程対象
DFIR7890	秋	国際安全保障専門研究2	IRS844-66j00	2	齊藤 孝祐		「国際安全保障研究2」と合併、博士後期課程対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS899-66j00	下川 雅嗣	
	岸川 毅	
	稲葉 奈々子	
	湯浅 剛	
	宮城 大蔵	
	河崎 健	
	高島 亮	
	安達 祐子	
	木村 護郎クリストフ	
	前嶋 和弘	
	都留 康子	
	飯島 真里子	
	鈴木 一敏	
	中内 政貴	
	小島 真智子	
齊藤 孝祐		

地域研究専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

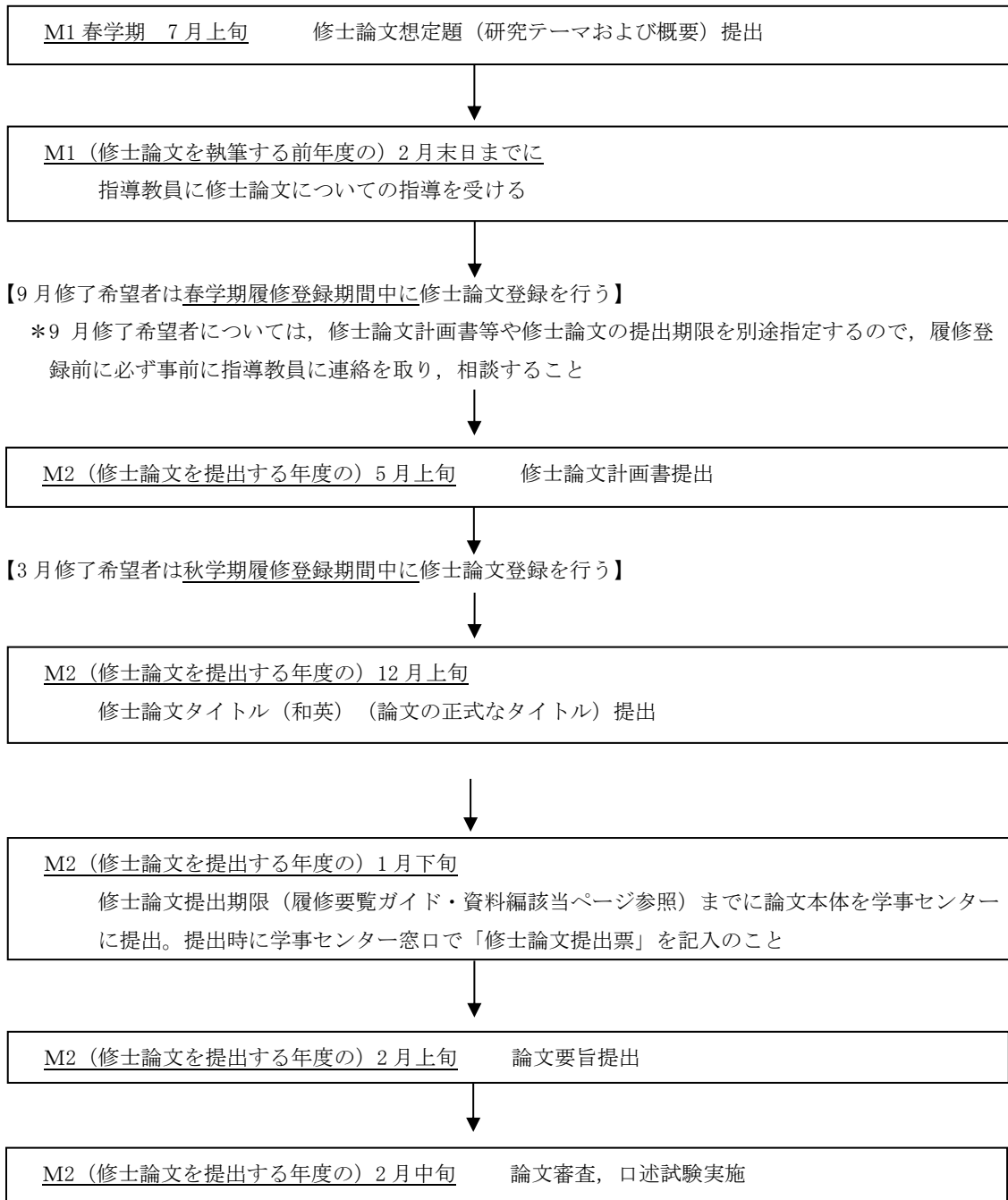
要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	6		
└地域研究方法論	2		
└地域調査方法論	2		
└生態人類学	2		
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
└（A）履修群：選択科目			
└（B）履修群：地域研究 専門科目	12		
└（C）履修群：地域間比 較科目	6		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			4単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される ※注 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に 必ず修士論文登録をすること）

※注 履修要覧〔ガイド・資料編〕51 ページ参照

地域研究専攻 博士前期課程における研究指導について

*書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

**提出物の実際の提出期限は Loyola やメールによる通知で再確認し、必要な書式をダウンロードすること



【修士論文審査基準】

提出された修士論文はディプロマ・ポリシーの中で述べられている能力と整合性をもつ、以下の評価基準に沿って審査される。

- 1) 研究対象に対して適切な方法論及び先行研究成果を踏まえていること。
- 2) グローバルな諸現象の解明に貢献する水準に達していること。
- 3) 地域に立脚した視座を有し、且つ社会的・学術的な意義が認められること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 出典記載や引用が適切になされているなど、論文の体裁が整っていること (これについての詳細は「修士論文に関する地域研究専攻内規」を参照すること)。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< (A) 履修群：基礎科目 >			
地域研究方法論	2		
地域調査方法論	2		
生態人類学	2		
フィールドワーク1			1
フィールドワーク2			1
< (B) 履修群：地域研究専門科目 >			
東南アジア社会文化研究1			2
東南アジア社会文化研究2			2
東南アジア国際協力研究1			2
東南アジア国際協力研究2			2
東南アジア宗教文化研究1			2
東南アジア宗教文化研究2			2
東南アジア政治史研究1			2
東南アジア政治史研究2			2
南アジア社会政治研究1			2
南アジア社会政治研究2			2
南アジア社会開発研究1			2
南アジア社会開発研究2			2
中東社会文化研究1			2
中東社会文化研究2			2
中東政治史研究1			2
中東政治史研究2			2
中東文化研究1			2
中東文化研究2			2
中東社会開発研究1			2
中東社会開発研究2			2
中東政治社会研究1			2
中東政治社会研究2			2
ラテンアメリカ国際関係研究1			2
ラテンアメリカ国際関係研究2			2
ラテンアメリカ社会開発研究1			2
ラテンアメリカ社会開発研究2			2
ラテンアメリカ社会研究1			2
ラテンアメリカ社会研究2			2
ラテンアメリカ文化研究1			2
ラテンアメリカ文化研究2			2
ラテンアメリカ経済研究1			2
ラテンアメリカ経済研究2			2
ヨーロッパ文化研究1			2
ヨーロッパ文化研究2			2
ヨーロッパ政治文化研究1			2
ヨーロッパ政治文化研究2			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究1			2
ヨーロッパ政治社会研究2			2
アフリカ政治研究1			2
アフリカ政治研究2			2
アフリカ政治社会研究1			2
アフリカ政治社会研究2			2
アフリカ社会文化研究 1			2
アフリカ社会文化研究 2			2
< (C) 履修群：地域間比較科目 >			
地域からみたグローバリゼーション			2
国際関係研究：中東			2
国際協力基礎研究			2
グローバル・ヒストリー			2
国際協力特講（ジェンダーと平和）			2
国際開発協力研究：東南アジア			2
国際開発協力研究：中東			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ			2
(他) 開発経済学研究1 ※注1			2
(他) 開発経済学研究2 ※注1			2
(他) 比較政治学研究1 ※注1			2
(他) 比較政治学研究2 ※注1			2
(他) 国際経済学研究1 ※注1			2
(他) 国際経済学研究2 ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究1 （経済学的アプローチ） ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究2 （経済学的アプローチ） ※注1			2
(他) < 西洋史学 > 中世演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 中世演習 II ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近世演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近世演習 II ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近・現代演習 I ※注2			2
(他) < 西洋史学 > 近・現代演習 II ※注2			2

※注1：国際関係論専攻開講科目。

※注2：文学研究科史学専攻開講科目。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程の必修科目は、1. 地域研究方法論、2. 地域調査方法論、3. 生態人類学の3科目で、この3科目は在学中(1, 2年次)に必ず選択し単位を修得しなければならない。できれば、入学年次に上記3科目中2科目まで履修しておくことが望ましい。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに専攻主任と相談の上、なるべく早く修士論文の指導教員(本学地域研究専攻担当専任教員)を決定し、その指導教員の地域研究専門科目を指定年次において履修し、単位を修得しなくてはならない。
- 3) 前期課程学生は、上記指導教員の地域研究専門科目を含めて、(B)履修群:地域研究専門科目(全科目重複履修可とする)から12単位以上を修得しなくてはならない。(B)履修群:地域研究専門科目は、履修する際、1年次・2年次でそれぞれ到達目標が異なるため、必ずシラバスで確認すること。
- 4) 前期課程学生は、(C)履修群:地域間比較科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 5) 上記以外の科目の選択は自由だが、科目選択にあたっては指導教員、専攻主任と相談の上、決定することとする。
- 6) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中毎学期履修しなくてはならない。また、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数が4科目と定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 7) 前期課程修了の条件は、上記1)～6)にしたがった上で、30単位以上の科目単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。前期課程学生は、第1年次に20単位以上を修得することが望ましい。
- 8) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、国際連合大学サステイナビリティ高等研究所の講座を受講させ、4単位まで必要単位として認定する。
- 9) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻主任と相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
(A) 履修群：基礎科目							
MFAS1010	春	地域研究方法論	ARS508-67j00	2	コ子安 昭子		(A) 輪講
MFAS1020	秋	地域調査方法論	ARS509-67j00	2	コ丸井 雅子		(A) 輪講
MFAS1030	春	生態人類学	ARS507-67j00	2	八塚 春名		(A)
MFAS7995	春	フィールドワーク1	ARS503-67j00	1	眞城・福武・田村		
MFAS7996	秋	フィールドワーク2	ARS504-67j00	1	眞城・福武・田村		
※注：フィールドワークは、履修年次・履修の順序を問わないが、連続する2学期において履修することが望ましい。(1と2, 2と1というように、どちらでも履修可とする)							
(B) 履修群：地域研究専門科目							
MFAS7040	春	東南アジア社会文化研究1	ASA505-67j00	2	丸井 雅子		(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS7050	秋	東南アジア社会文化研究2	ASA506-67j00	2	丸井 雅子		(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7081	春	東南アジア国際協力研究1	ASA503-67j00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)1」と合併
MFAS7091	秋	東南アジア国際協力研究2	ASA504-67j00	2	福武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究(上級)2」と合併
MFAS7260	春	東南アジア宗教文化研究1	ASA507-67j00	2	久志本 裕子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)1」と合併
MFAS7270	秋	東南アジア宗教文化研究2	ASA508-67j00	2	久志本 裕子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究(上級)2」と合併
MFAS7240	休講	東南アジア政治史研究1	ASA509-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究(上級)1」と合併
MFAS7250	秋	東南アジア政治史研究2	ASA510-67j00	2	根本 敬		(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究(上級)2」と合併
MFAS7300	春	南アジア社会政治研究1	ASA515-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)1」と合併
MFAS7310	秋	南アジア社会政治研究2	ASA516-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究(上級)2」と合併
MFAS7320	春	南アジア社会開発研究1	ASA513-67j00	2	田中 雅子		(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7330	休講	南アジア社会開発研究2	ASA514-67j00	2			(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7100	休講	中東社会文化研究1	AME505-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS7110	休講	中東社会文化研究2	AME506-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東社会文化研究(上級)2」と合併
MFAS7360	春	中東政治史研究1	AME507-67j00	2	山口 昭彦		(B) 博士後期課程「中東政治史研究(上級)1」と合併
MFAS7370	秋	中東政治史研究2	AME508-67j00	2	山口 昭彦		(B) 博士後期課程「中東政治史研究(上級)2」と合併
MFAS7400	休講	中東文化研究1	AME511-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)1」と合併
MFAS7410	秋	中東文化研究2	AME512-67j00	2	赤堀 雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究(上級)2」と合併
MFAS7120	春	中東社会開発研究1	AME503-67j00	2	岩崎 えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7130	秋	中東社会開発研究2	AME504-67j00	2	岩崎 えり奈		(B) 博士後期課程「中東社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7530	春	中東政治社会研究1	AME509-67j00	2	澤江 史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7540	休講	中東政治社会研究2	AME510-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS7490	春	ラテンアメリカ国際関係研究1	ALA503-67j00	2	子安 昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1」と合併
MFAS7500	秋	ラテンアメリカ国際関係研究2	ALA504-67j00	2	子安 昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MFAS7450	春	ラテンアメリカ社会開発研究1	ALA505-67j00	2	田村 梨花		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1」と合併
MFAS7460	秋	ラテンアメリカ社会開発研究2	ALA506-67j00	2	田村 梨花		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2」と合併
MFAS7570	春	ラテンアメリカ社会研究1	ALA507-67j00	2	幡谷 則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)1」と合併
MFAS7580	秋	ラテンアメリカ社会研究2	ALA508-67j00	2	幡谷 則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究(上級)2」と合併
MFAS7610	春	ラテンアメリカ文化研究1	ALA509-67h00	2	長谷川 ニナ	○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究(上級)1」と合併
MFAS7620	秋	ラテンアメリカ文化研究2	ALA510-67h00	2	長谷川 ニナ	○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究(上級)2」と合併
MFAS7650	春	ラテンアメリカ経済研究1	ALA501-67j00	2	谷 洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)1」と合併
MFAS7660	秋	ラテンアメリカ経済研究2	ALA502-67j00	2	谷 洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究(上級)2」と合併
MFAS7940	春	ヨーロッパ文化研究1	AEU505-67j00	2	松原 典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究(上級)1」と合併
MFAS7950	秋	ヨーロッパ文化研究2	AEU506-67j00	2	松原 典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究(上級)2」と合併
MFAS7000	休講	ヨーロッパ政治文化研究1	AEU503-67j00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究(上級)1」と合併
MFAS7010	休講	ヨーロッパ政治文化研究2	AEU504-67j00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究(上級)2」と合併
MFAS7020	休講	ヨーロッパ政治社会研究1	AEU501-67j00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7030	休講	ヨーロッパ政治社会研究2	AEU502-67j00	2			(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS7980	春	アフリカ政治研究1	AAF501-67j00	2	矢澤 達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究(上級)1」と合併
MFAS7990	秋	アフリカ政治研究2	AAF502-67j00	2	矢澤 達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究(上級)2」と合併
MFAS7993	春	アフリカ政治社会研究1	AAF503-67j00	2	眞城 百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)1」と合併
MFAS7994	秋	アフリカ政治社会研究2	AAF504-67j00	2	眞城 百華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究(上級)2」と合併
MFAS8002	春	アフリカ社会文化研究1	AAF505-67j00	2	戸田 美佳子		(B) 博士後期課程「アフリカ社会文化研究(上級)1」と合併
MFAS8003	秋	アフリカ社会文化研究2	AAF506-67j00	2	戸田 美佳子		(B) 博士後期課程「アフリカ社会文化研究(上級)2」と合併

(C) 履修群：地域間比較科目

MFAS7997	春	地域からみたグローバリゼーション	ARS510-67J00	2	コ)田中 雅子		(C) 輪講 旧「グローバル化の諸問題」
MFAS7440	秋	国際関係研究：中東	AME502-67j00	2	*白杵 陽		(C)
MFAS7998	春	国際協力基礎研究	ARS511-67j00	2	福武 慎太郎		(C)
MFAS4999	秋	グローバル・ヒストリー	ARS513-67j00	2	*野澤 丈二		(C)
MFAS8001	秋	国際協力特講(ジェンダーと平和)	ARS512-67j00	2	*秋林 こずえ		(C)
MFAS8000	秋	国際開発協力研究：東南アジア	ASA513-67j00	2	*長瀬 理英		(C)
MFAS7760	秋	国際開発協力研究：中東	AME501-67j00	2	*長澤 榮治		(C)
MFAS7770	秋	国際開発協力研究：ラテンアメリカ	ALA511-67j00	2	*受田 宏之		(C)
		(他) 開発経済学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 開発経済学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 比較政治学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 比較政治学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 国際経済学研究1		2			(C) ※注3
		(他) 国際経済学研究2		2			(C) ※注3
		(他) 国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)		2			(C) ※注3
		(他) 国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)		2			(C) ※注3
		(他) <西洋史学>中世演習 I		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>中世演習 II		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近世演習 I		2			(C) ※注4

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
		(他) <西洋史学>近世演習Ⅱ		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近・現代演習Ⅰ		2			(C) ※注4
		(他) <西洋史学>近・現代演習Ⅱ		2			(C) ※注4
その他							
MFAS9010	秋	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻各指導教員		
MFAS9020	春	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻各指導教員		

注1：備考欄の(A)(B)(C)は履修群を示す。

注2：担当教員名欄の(コ)はコーディネータを示す。

注3：国際関係論専攻開講科目

注4：文学研究科史学専攻開講科目

上記注3、4科目の詳細については各専攻の履修要覧を確認すること

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS599-67j00	赤堀 雅幸	
	岩崎 えり奈	
	内村 俊太	
	久志本 裕子	
	子安 昭子	
	澤江 史子	
	高橋 暁生	
	田中 雅子	
	谷 洋之	
	田村 梨花	
	戸田 美佳子	
	根本 敬	
	長谷川 ニナ	
	幡谷 則子	
	福武 慎太郎	
	眞城 百華	
	松原 典子	
	丸井 雅子	
	矢澤 達宏	
山口 昭彦		
AUGUSTINE Sali		

地域研究専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
▶選択科目			
↳博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される ※注 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される ※注
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

※注 履修要覧〔ガイド・資料編〕51ページ参照

【博士論文審査基準】

提出された博士論文はディプロマ・ポリシーの中で述べられている能力と整合性をもつ, 以下の評価基準に沿って審査される。

- 1) 学術的独創性が認められ, 地域研究の学問分野において方法論・調査方法上の貢献につながる水準に達していること。
- 2) 研究対象地域の言語を駆使した調査・研究に基づき, 新たな知見によって社会的・学術的な意義が認められること。
- 3) 先行研究と自身の研究課題との関係が, 学界での十分な議論を経て検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の体裁が整っていること。
- 6) 地域研究に必要とされる, 研究対象及び地域に対する研究活動規範即ちコンプライアンスが遵守されていること。

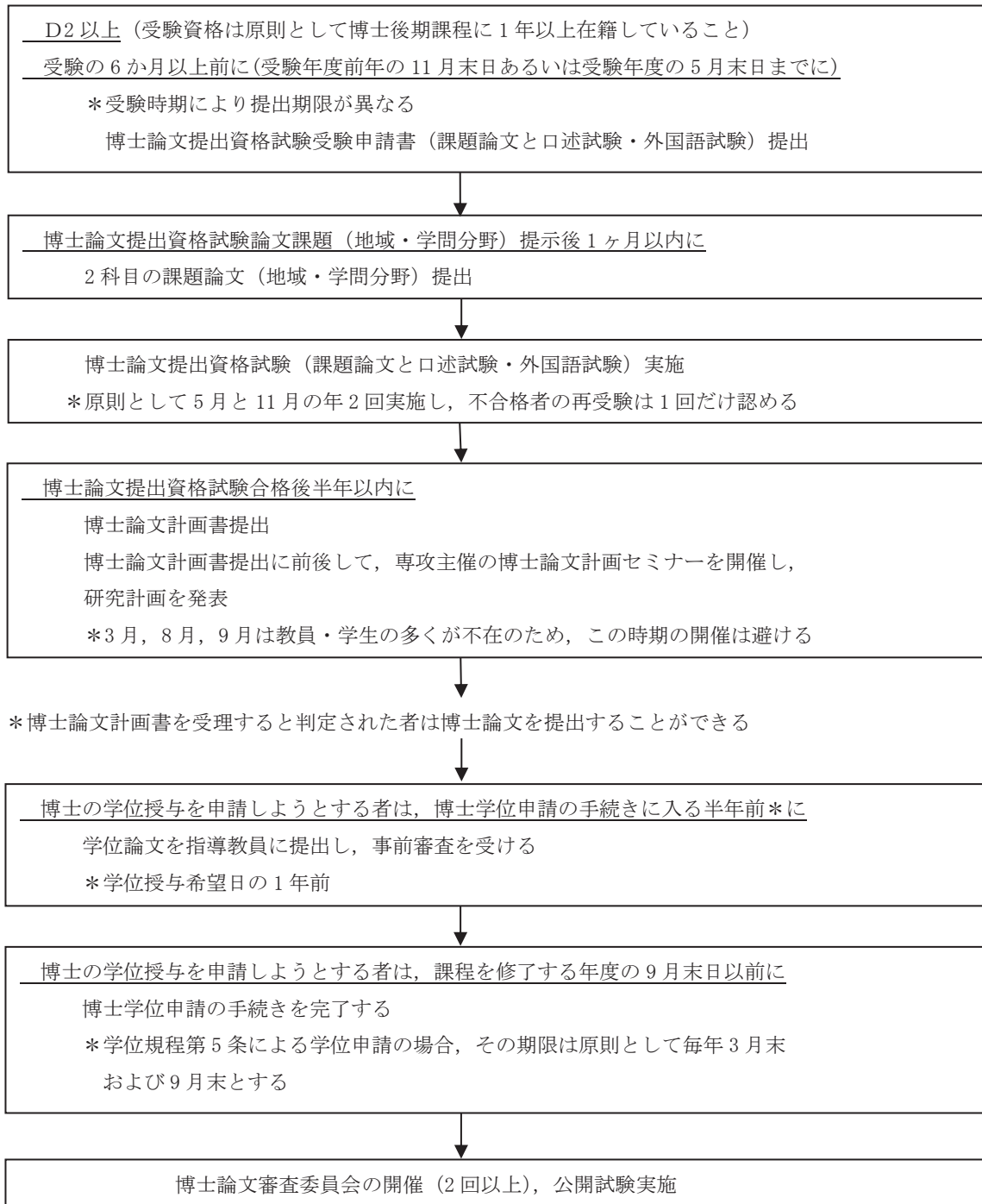
2. 履修上の注意

- 1) 後期課程学生の修了要件は, 上記「1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件」に従って履修し, 博士論文提出資格試験に合格, 博士論文計画書の受理を経た上で, 定められた手続きにより博士論文を提出し, 審査および試験に合格することである。
- 2) 後期課程学生（2018年次生以降）は, 指導教員の博士後期課程演習科目を含めて, 博士後期課程演習科目から6単元以上を修得しなくてはならない。
- 3) 後期課程学生は, 在学期間中の6学期間, 指導教員担当の研究指導を履修しなくてはならない。ただし, 大学院学則第4章第21条の2の規程に基づき, 在学期間の短縮を認められた者に関しては, 短縮された在学期間中, 指導教員の研究指導を履修すればよいものとする。
- 4) その他, 不明な点は, 上智大学大学院学則, 上智大学学位規程を熟読し, 専攻主任と相談すること。

地域研究専攻 博士後期課程における研究指導について

*書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

**提出物の実際の提出期限は Loyola やメールによる通知で再確認し、必要な書式をダウンロードすること



3. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
東南アジア社会文化研究（上級）1			2
東南アジア社会文化研究（上級）2			2
東南アジア国際協力研究（上級）1			2
東南アジア国際協力研究（上級）2			2
東南アジア宗教文化研究（上級）1			2
東南アジア宗教文化研究（上級）2			2
東南アジア政治史研究（上級）1			2
東南アジア政治史研究（上級）2			2
南アジア社会政治研究（上級）1			2
南アジア社会政治研究（上級）2			2
南アジア社会開発研究（上級）1			2
南アジア社会開発研究（上級）2			2
中東社会文化研究（上級）1			2
中東社会文化研究（上級）2			2
中東政治史研究（上級）1			2
中東政治史研究（上級）2			2
中東文化研究（上級）1			2
中東文化研究（上級）2			2
中東社会開発研究（上級）1			2
中東社会開発研究（上級）2			2
中東政治社会研究（上級）1			2
中東政治社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ国際関係研究（上級）1			2
ラテンアメリカ国際関係研究（上級）2			2
ラテンアメリカ社会開発研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会開発研究（上級）2			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）1			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）2			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）1			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）2			2
ヨーロッパ文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ文化研究（上級）2			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治社会研究（上級）2			2
アフリカ政治研究（上級）1			2
アフリカ政治研究（上級）2			2
アフリカ政治社会研究（上級）1			2
アフリカ政治社会研究（上級）2			2
アフリカ社会文化研究（上級）1			2
アフリカ社会文化研究（上級）2			2

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
博士後期課程演習科目							
DFAS7000	春	東南アジア社会文化研究（上級）1	ASA805-67j00	2	丸井 雅子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究1」と合併
DFAS7010	秋	東南アジア社会文化研究（上級）2	ASA806-67j00	2	丸井 雅子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究2」と合併
DFAS7020	春	東南アジア国際協力研究（上級）1	ASA807-67j00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究1」と合併
DFAS7030	秋	東南アジア国際協力研究（上級）2	ASA808-67j00	2	福武 慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究2」と合併
DFAS7460	春	東南アジア宗教文化研究（上級）1	ASA809-67j00	2	久志本 裕子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究1」と合併
DFAS7470	秋	東南アジア宗教文化研究（上級）2	ASA810-67j00	2	久志本 裕子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究2」と合併
DFAS7080	休講	東南アジア政治史研究（上級）1	ASA813-67j00	2			博士前期課程「東南アジア政治史研究1」と合併
DFAS7090	秋	東南アジア政治史研究（上級）2	ASA814-67j00	2	根本 敬		博士前期課程「東南アジア政治史研究2」と合併
DFAS7420	春	南アジア社会政治研究（上級）1	ASA801-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究1」と合併
DFAS7430	秋	南アジア社会政治研究（上級）2	ASA802-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究2」と合併
DFAS7440	春	南アジア社会開発研究（上級）1	ASA803-67j00	2	田中 雅子		博士前期課程「南アジア社会開発研究1」と合併
DFAS7450	休講	南アジア社会開発研究（上級）2	ASA804-67j00	2			博士前期課程「南アジア社会開発研究2」と合併
DFAS7120	休講	中東社会文化研究（上級）1	AME803-67j00	2			博士前期課程「中東社会文化研究1」と合併
DFAS7130	休講	中東社会文化研究（上級）2	AME804-67j00	2			博士前期課程「中東社会文化研究2」と合併
DFAS7140	春	中東政治史研究（上級）1	AME805-67j00	2	山口 昭彦		博士前期課程「中東政治史研究1」と合併
DFAS7150	秋	中東政治史研究（上級）2	AME806-67j00	2	山口 昭彦		博士前期課程「中東政治史研究2」と合併
DFAS7160	休講	中東文化研究（上級）1	AME807-67j00	2			博士前期課程「中東文化研究1」と合併
DFAS7170	秋	中東文化研究（上級）2	AME808-67j00	2	赤堀 雅幸		博士前期課程「中東文化研究2」と合併
DFAS7180	春	中東社会開発研究（上級）1	AME801-67j00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究1」と合併
DFAS7190	秋	中東社会開発研究（上級）2	AME802-67j00	2	岩崎 えり奈		博士前期課程「中東社会開発研究2」と合併
DFAS7200	春	中東政治社会研究（上級）1	AME809-67j00	2	澤江 史子		博士前期課程「中東政治社会研究1」と合併
DFAS7210	休講	中東政治社会研究（上級）2	AME810-67j00	2			博士前期課程「中東政治社会研究2」と合併
DFAS7220	春	ラテンアメリカ国際関係研究（上級）1	ALA803-67j00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究1」と合併
DFAS7230	秋	ラテンアメリカ国際関係研究（上級）2	ALA804-67j00	2	子安 昭子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究2」と合併
DFAS7240	春	ラテンアメリカ社会開発研究（上級）1	ALA801-67j00	2	田村 梨花		博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究1」と合併
DFAS7250	秋	ラテンアメリカ社会開発研究（上級）2	ALA802-67j00	2	田村 梨花		博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究2」と合併
DFAS7260	春	ラテンアメリカ社会研究（上級）1	ALA805-67j00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究1」と合併
DFAS7270	秋	ラテンアメリカ社会研究（上級）2	ALA806-67j00	2	幡谷 則子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究2」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DFAS7280	春	ラテンアメリカ文化研究（上級）1	ALA807-67h00	2	長谷川 ニナ	○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究1」と合併
DFAS7290	秋	ラテンアメリカ文化研究（上級）2	ALA808-67h00	2	長谷川 ニナ	○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究2」と合併
DFAS7300	春	ラテンアメリカ経済研究（上級）1	ALA809-67j00	2	谷 洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究1」と合併
DFAS7310	秋	ラテンアメリカ経済研究（上級）2	ALA810-67j00	2	谷 洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究2」と合併
DFAS7320	春	ヨーロッパ文化研究（上級）1	AEU801-67j00	2	松原 典子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究1」と合併
DFAS7330	秋	ヨーロッパ文化研究（上級）2	AEU802-67j00	2	松原 典子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究2」と合併
DFAS7340	休講	ヨーロッパ政治文化研究（上級）1	AEU803-67j00	2			博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究1」と合併
DFAS7350	休講	ヨーロッパ政治文化研究（上級）2	AEU804-67j00	2			博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究2」と合併
DFAS7360	休講	ヨーロッパ政治社会研究（上級）1	AEU805-67j00	2			博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究1」と合併
DFAS7370	休講	ヨーロッパ政治社会研究（上級）2	AEU806-67j00	2			博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究2」と合併
DFAS7380	春	アフリカ政治研究（上級）1	AAF801-67j00	2	矢澤 達宏		博士前期課程「アフリカ政治研究1」と合併
DFAS7390	秋	アフリカ政治研究（上級）2	AAF802-67j00	2	矢澤 達宏		博士前期課程「アフリカ政治研究2」と合併
DFAS7400	春	アフリカ政治社会研究（上級）1	AAF803-67j00	2	眞城 百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究1」と合併
DFAS7410	秋	アフリカ政治社会研究（上級）2	AAF804-67j00	2	眞城 百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究2」と合併
DFAS7480	春	アフリカ社会文化研究（上級）1	AAF805-67j00	2	戸田 美佳子		博士前期課程「アフリカ社会文化研究1」と合併
DFAS7490	秋	アフリカ社会文化研究（上級）2	AAF806-67j00	2	戸田 美佳子		博士前期課程「アフリカ社会文化研究2」と合併

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS899-67j00	赤堀 雅幸	
	岩崎 えり奈	
	内村 俊太	
	久志本 裕子	
	子安 昭子	
	澤江 史子	
	高橋 暁生	
	田中 雅子	
	谷 洋之	
	田村 梨花	
	戸田 美佳子	
	根本 敬	
	長谷川 ニナ	
	幡谷 則子	
	福武 慎太郎	
	眞城 百華	
	松原 典子	
	丸井 雅子	
	矢澤 達宏	
	山口 昭彦	
AUGUSTINE Sali		

国際協力学専攻 修士課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶ 選択必修科目	2		
└ 中核科目群 (海外実習科目・B群)	2		
▶ 選択科目	28		
└ 自専攻科目			
└ 中核科目群 (基礎科目・A群)			
└ 専門科目群 (応用科目・C群)			
└ 専門科目群 (応用実務科目・D群)			
└ 専門科目群 (連携科目・E群)			
└ 自研究科他専攻科目			
研究指導（必修）		3	単位なし, 1年次秋学期以降毎学期登録される。3科目以上合格すること。
修士論文もしくはリサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文もしくはリサーチペーパーの審査および試験に合格すること。

- ▶ 海外実習科目 2 単位を選択必修とし, それを含む 30 単位を修得すること。
- ▶ 「研究指導」を 1 年次秋学期以降, 毎学期履修し, 必要な科目数を合格しなくてはならない。ただし, 早期修了者および長期履修生については, 必要合格科目数をそれぞれ 2 科目, 5 科目以上とする。
- ▶ 修士課程修了要件は, 履修上の注意にしたがったうえで, 30 単位以上の単位を修得し, 定められた手続きにより修士論文もしくはリサーチペーパーを提出して, 口述試験に合格することである。

【定められた手続きに関するスケジュール】

（標準修業年限修了者）

<修士課程1年次>

4月上旬	入学式
4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（観覧者として）*
10月上旬	「修士課程指導教員届」提出

*2021年度は初年度のため、早期修了希望者がいない場合は実施しない。

<修士課程2年次>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
4月中旬	「修士論文およびリサーチペーパー提出予備届」提出
	「修士課程指導教員変更届」提出期限
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
11月上旬	「国際協力学専攻修士論文およびリサーチペーパー提出本届」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
2月上旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

（早期修了希望者）

<修士課程1年次>

4月上旬	入学式
4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬	早期修了申請書を専攻主任（専攻事務室）に提出
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
5月上旬	「修士課程指導教員届」提出期限
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
11月上旬	「国際協力学専攻修士論文およびリサーチペーパー提出本届」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
2月上旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

（長期履修生）

<修士課程1年目>

4月上旬	入学式
4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
10月上旬	「修士課程指導教員届」提出

<修士課程2年目>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目） 「修士課程指導教員変更届」を必要に応じて提出
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（観覧者として）
10月上旬	「修士課程指導教員変更届」を必要に応じて提出

<修士課程3年目>

4月上旬	国際協力学専攻別ガイダンスにて必要書類・提出書類受取
4月上旬～中旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（春学期科目）
4月中旬	「修士論文およびリサーチペーパー提出予備届」提出 「修士課程指導教員変更届」提出期限
9月中旬～9月下旬	履修登録期間中に Loyola にて履修登録（秋学期科目）
9月下旬～10月上旬	修士論文およびリサーチペーパー中間報告会出席（報告者として）
11月上旬	「国際協力学専攻修士論文およびリサーチペーパー提出本届」提出
1月上旬	修士論文およびリサーチペーパー提出期日
2月上旬	修士論文およびリサーチペーパー口述試験（後日結果通知）
3月下旬	学位授与式

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、国際協力論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

【リサーチペーパー審査基準】

- 1) 修士論文の審査基準である学術的な側面だけでなく、実務での有用性という点を強く意識した構成であること。
- 2) 国際協力の現場ですぐ使える水準の実践的な内容を含んでいること。
- 3) 国際協力の現場について現地調査を行い、その調査結果を報告するといった課題設定とするなど、社会調査方法や資料収集、分析の枠組み、理論的根拠が明確であり、研究結果が妥当であること。
- 4) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 5) 構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 6) 言語表現が的確で、目次・註・付録（図表・資料・参考文献表）に関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
<中核科目群（基礎科目・A群）>			
UN STUDIES			2
UN STUDIES SEMINAR			2
INTERNATIONAL ORGANIZATIONS			2
INTERNATIONAL ORGANIZATIONS SEMINAR			2
PEACEBUILDING SEMINAR			2
グローバル・ガバナンス論			2
国際政治と国際協力			2
国際政治と国際協力演習			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1			2
EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT			2
REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY 1			2
REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY 2			2
ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT			2
SUSTAINABLE DEVELOPMENT 1			2
SOCIAL SCIENCE RESEARCH DESIGNS AND ACADEMIC WRITING			2
QUANTITATIVE RESEARCH METHODS ※注1			2
<中核科目群（海外実習科目・B群）>			
国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)		2	
ジュネーブ国際機関集中研修プログラム		2	
バンコク国際機関実地研修		2	
タイ北部フィールドワークプログラム		2	
実務型国連集中研修プログラム		2	
持続可能性に関するスタディツアー		2	
<専門科目群（応用科目・C群）>			
平和協力と日本の支援研究			2
平和協力論			2
平和協力論演習			2
外交と国際協力論			2
EUの対外政策と国際協力			2
INTERNATIONAL MIGRATION AND GLOBAL POLITICS			2
INTERNATIONAL PROTECTION OF REFUGEES			2
HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING			2
DEVELOPMENT POLICY STUDIES			2
STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2			2
NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING			2
ENVIRONMENTAL HISTORY AND POLICIES IN JAPAN			2
GENDER AND POLITICS 1 ※注2			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ※注3			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ※注3			2

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
<専門科目群（応用実務科目・D群）>			
INTERNATIONAL CIVIL SERVICE AND HUMAN RESOURCES FOR INTERNATIONAL COOPERATION			2
コーポレート・コミュニケーション論			2
PROJECT MANAGEMENT 1			2
PROJECT MANAGEMENT 2			2
平和構築と国際協力			1
国際人道支援の基本理念・実践と国際人道法			1
SUSTAINABLE DEVELOPMENT 2			2
INTERNATIONAL FINANCIAL INSTITUTIONS FOR DEVELOPMENT			2
INTERNATIONAL FINANCIAL INSTITUTIONS AND THE PRIVATE SECTOR			2
INTERNATIONAL DEVELOPMENT COOPERATION: POPULATION, HEALTH, GENDER AND HUMAN RIGHTS			2
WORLD BANK PROJECT MANAGEMENT			2
<専門科目群（連携科目・E群）>			
グローバルガバナンス論研究1 ※注4			2
グローバルガバナンス論研究2 ※注4			2
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ) ※注4			2
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ) ※注4			2
国際法研究Ⅴ ※注2			2
平和学特講 ※注5			2
国際経済学研究1 ※注4			2
国際経済学研究2 ※注4			2
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ) ※注4			2
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ) ※注4			2
国際協力基礎研究 ※注6			2
国際開発協力研究：東南アジア ※注6			2
国際開発協力研究：中東 ※注6			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ ※注6			2
南アジア社会開発研究1 ※注6			2
南アジア社会開発研究2 ※注6			2
JAPAN ETHNOGRAPHY (FIELDWORK PRACTICE) ※注1			2

※注1：グローバル社会専攻開講科目

※注2：法律学専攻開講科目

※注3：新聞学専攻開講科目

※注4：国際関係論専攻開講科目

※注5：神学専攻開講科目

※注6：地域研究専攻開講科目

上記注科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

3. 履修上の注意

- 1) 修士課程学生は、選択必修科目として[中核科目群 (海外実習科目・B群)] から2単位、ならびに選択科目として[中核科目群 (基礎科目・A群)], [専門科目群 (応用科目・C群), (応用実務科目・D群), (連携科目・E群)] から28単位以上を修得しなければならない。なお, [中核科目群 (海外実習科目・B群)] は, 選択必修として必要な2単位以上を履修することはできるが, 余剰分は修了要件に算入されない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
- 2) 修士課程学生は, 本専攻の教育・研究の柱が「平和協力・平和構築研究」, 「持続可能な開発/社会・教育開発研究」の2つであることを十分理解したうえで, 各自研究計画の遂行に適した授業科目を検討するとともに, 1年次秋学期に修士論文もしくはリサーチペーパーの指導教員(本学国際協力学専攻専任教員)を決定し, 指導教員の指導にしたがって必要な科目を履修すること。
- 3) 指導教員の決定にあたり, 1年次秋学期の初めに「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。
- 4) 年度初めに行う専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文」「リサーチペーパー」について説明を行うので, 必ず出席すること。
- 5) 「研究指導」を1年次秋学期以降, 每学期履修し, 必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 科目選択にあたっては指導教員と相談の上, 決定することとする。
- 7) 修士論文およびリサーチペーパーの提出にあたっては, 基礎理論やリサーチの方法論をベースに, 研究課題のテーマ設定を行い, その下に基礎資料を収集し, 論文や課題の概略を用意させて, プロポーザルレビューを行う。
- 8) 修了条件は, 上記1)~8)にしたがった上で, 30単位以上の単位を修得し, 定められた手続きにより修士論文もしくはリサーチペーパーを提出して, 口述試験に合格することである。
- 9) 大学院学則の規定に従い, 本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を, 本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる(入学前既修得単位認定)。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を, 本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる(単位換算)。いずれの場合も, 学事センターへ申請が提出された後, 本専攻にて審議し, 認定の可否を判断する。単位数は, 本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は10単位を上限とする。
- 10) その他, 不明な点は, 上智大学大学院学則, 上智大学学位規程を熟読し, 専攻事務室, 指導教員, 専攻主任などと相談すること。

(早期修了希望者)

上記のほか, 以下のとおりの取り扱いとする。

- 1) 上智大学大学院学則第21条第3項に規定する1年間の在学期間(早期修了)を希望する者は, 指導教員の承認を得て, 1年次4月第2月曜日までに, 「早期修了申請書」(*所定用紙)を国際協力学専攻主任(国際協力学専攻事務室)に届け出ること。
同項に規定する「優れた業績を上げた者」とは, 修了に必要な修得単位の成績評価のGPAが3.8以上であり, 修士論文もしくはリサーチペーパーが, 審査委員会によってB以上と評価された者とする。
- 2) 早期修了の予定を取り消す者については, 指導教員の承認を得て, 2021年11月5日(金)までに, 「早期修了取消届出書」(*所定用紙)を, 国際協力学専攻主任(国際協力学専攻事務室)に届け出ること。
その者の履修は, 上記の標準修業年限(2年)修了予定者に準ずる。
*上記所定用紙は, 国際協力学専攻事務室にて配付。
- 3) 「履修上の注意」のうち3)については, 以下のとおり読み替える。
指導教員の決定は1年次春学期とし, 1年次春学期の初めに「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。
- 4) 「履修上の注意」のうち5)については, 以下のとおり読み替える。
「研究指導」を1年次春学期および秋学期に履修し, 合格しなくてはならない。

(長期履修学生)

上記のほか，以下のとおりの取り扱いとする。

- 1) 長期履修学生が，履修期間の短縮を希望する場合は，1年次の2月第3月曜日までに「長期履修学生履修期間変更申請書」（*所定用紙）を，国際協力学専攻主任（国際協力学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修期間の変更は1回限りとする。
*上記所定用紙は，国際協力学専攻事務室にて配付。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MFIC1000	1Q	UN STUDIES	ICP501-60e00	2	植木 安弘	○	
MFIC1010	秋	UN STUDIES SEMINAR	ICP502-60e00	2	植木 安弘	○	
MFIC1020	1Q	INTERNATIONAL ORGANIZATIONS	ICP503-60e00	2	植木 安弘	○	
MFIC1030	秋	INTERNATIONAL ORGANIZATIONS SEMINAR	ICP504-60e00	2	植木 安弘	○	
MFIC1040	春	PEACEBUILDING SEMINAR	POL501-60e00	2	東 大作	○	
MFIC1050	春	グローバル・ガバナンス論	IRS50160j00	2	岡部 みどり		
MFIC1060	春	国際政治と国際協力	IRS502-60j00	2	渡辺 紫乃		国際関係論専攻開講科目「国際政治学研究」と合併
MFIC1070	春	国際政治と国際協力演習	IRS503-60j00	2	渡辺 紫乃		春学期集中科目，国際関係論専攻開講科目「中国政治外交研究」と合併
MFIC1080	1Q	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1	EDU501-60e00	2	廣里 恭史	○	
MFIC1090	秋	EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	EDU502-60e00	2	丸山 英樹	○	
MFIC1100	春	REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY 1	ARS501-60e00	2	水谷 裕佳	○	
MFIC1110	秋	REGIONS AND COMMUNITIES IN INTERNATIONAL SOCIETY 2	ARS502-60e00	2	水谷 裕佳	○	
MFIC1120	秋	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT	ENV501-60e00	2	杉浦 未希子	○	
MFIC1130	2Q	SUSTAINABLE DEVELOPMENT 1	ICP505-60e00	2	*高瀬 千賀子	○	
MFIC1140	春	SOCIAL SCIENCE RESEARCH DESIGNS AND ACADEMIC WRITING	ICP506-60e00	2	*長倉 若	○	春学期集中科目
MFIC1150	4Q	国連の役割と機能（国連集中研修プログラム）	SEP501-60m00	2	植木 安弘		秋学期（春期休暇中）集中科目，授業は日本語と英語で行う
MFIC1160	2Q	ジュネーブ国際機関集中研修プログラム	SEP502-60m00	2	植木 安弘		春学期（夏期休暇中）集中科目授業は日本語と英語で行う
MFIC1170	2Q	バンコク国際機関実地研修	SEP503-60m00	2	廣里 恭史		春学期（夏期休暇中）集中科目授業は日本語と英語で行う
MFIC1180	4Q	タイ北部フィールドワークプログラム	SEP504-60m00	2	廣里 恭史		秋学期（春期休暇中）集中科目授業は日本語と英語で行う
MFIC1190	2Q	実務型国連集中研修プログラム	SEP505-60m00	2	植木 安弘		春学期（夏期休暇中）集中科目授業は日本語と英語で行う
MFIC1200	2Q	持続可能性に関するスタディツアー	SEP506-60m00	2	丸山 英樹		春学期（夏期休暇中）集中科目授業は日本語と英語で行う
MFIC1210	春	平和協力と日本の支援研究	ICP507-60j00	2	植木 安弘		
MFIC1220	春	平和協力論	ICP508-60j00	2	*角 茂樹		
MFIC1230	秋	平和協力論演習	ICP509-60j00	2	*角 茂樹		
MFIC1240	秋	外交と国際協力論	ICP510-60j00	2	*兼原 信克		
MFIC1250	春	EUの対外政策と国際協力	ICP511-60j00	2	*植田 隆子		
MFIC1260	秋	INTERNATIONAL MIGRATION AND GLOBAL POLITICS	POL502-60e00	2	岡部 みどり	○	
MFIC1270	1Q	INTERNATIONAL PROTECTION OF REFUGEES	ICP512-60e00	2	*小尾 尚子	○	
MFIC1280	秋	HUMAN SECURITY AND PEACEBUILDING	ICP513-60e00	2	*キハラハント 愛	○	
MFIC1290	4Q	DEVELOPMENT POLICY STUDIES	ICP514-60e00	2	*黒田 和秀	○	
MFIC1300	3Q	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2	EDU503-60e00	2	廣里 恭史	○	
MFIC1310	春	NON-FORMAL EDUCATION AND LIFELONG LEARNING	EDU504-60e00	2	丸山 英樹	○	
MFIC1320	春	ENVIRONMENTAL HISTORY AND POLICIES IN JAPAN	ENV502-60e00	2	杉浦 未希子	○	
MFIC1330	3Q	INTERNATIONAL CIVIL SERVICE AND HUMAN RESOURCES FOR INTERNATIONAL COOPERATION	ICP515-60e00	2	*茶木 久実子 *玉内 みちる	○	
MFIC1340	2Q	コーポレート・コミュニケーション論	ICP516-60e00	2	*黒田 明彦		
MFIC1350	春	PROJECT MANAGEMENT 1	ICP517-60e00	2	*Sarajejan Rossitto	○	
MFIC1360	秋	PROJECT MANAGEMENT 2	ICP518-60e00	2	*Sarajejan Rossitto	○	
MFIC1370	2Q	平和構築と国際協力	ICP519-60e00	1	*隈元 美穂子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MFIC1380	2Q	国際人道支援の基本理念・実践と国際人道法	ICP520-60e00	1	*田中 康夫		
MFIC1390	4Q	SUSTAINABLE DEVELOPMENT 2	ICP521-60e00	2	*森田 宏子	○	
MFIC1400	秋	INTERNATIONAL FINANCIAL INSTITUTIONS FOR DEVELOPMENT	ICP522-60e00	2	*村井 暁子	○	
MFIC1410	秋	INTERNATIONAL FINANCIAL INSTITUTIONS AND THE PRIVATE SECTOR	ICP523-60e00	2	*中澤 賢治	○	
MFIC1420	春	INTERNATIONAL DEVELOPMENT COOPERATION : POPULATION, HEALTH, GENDER AND HUMAN RIGHTS	ICP524-60e00	2	*佐崎 淳子	○	
MFIC1430	4Q	WORLD BANK PROJECT MANAGEMENT	ICP525-60e00	2	*黒田 和秀	○	
MFIC9000	秋	修士論文	ICP601-60j00	0	国際協力学専攻各指導教員		M2 (M1 早期修了予定者含む) 対象
MFIC9010	秋	リサーチペーパー	ICP602-60j00	0	国際協力学専攻各指導教員		M2 (M1 早期修了予定者含む) 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ICP526-60j00	植木 安弘	
	東 大作	
	岡部 みどり	
	渡辺 紫乃	
	廣里 恭史	
	丸山 英樹	
	水谷 裕佳	
	杉浦 未希子	